

あつみ ようちえん通信

vol.42

企画・編集：(株)ASO



歌う海賊団ツ!

が今年もやってきたあ〜

ド迫力の音楽と舞台に
心の底から

笑ったよ! 歌ったよ! 感動したよ!



見て、聞いて、笑って、歌って、踊って
愉快で楽しいコンサート



1月に取材しました。

虹色カーンル

子どもたちも先生も、みんなが待っていた “歌う海賊団ッ!” 大合唱と笑いの ライブステージにみんなが 元気! になっていく。

バンダナを首に巻き、海賊になりきって会場にやってきた子どもたち。小さい組のお友だちは何が始まるんだろうと、ちょっとドキドキ。毎年観てきた年中長さんはすでに期待感いっぱい。園児全員が一堂に会して観るのはコロナ後では初めてのことだそうです。
レポーター あきもと さちこ

ヨッホー! オレが船長だ。
よろしくなッ!
宝さがし、一緒にしよう。
わくわくするぜ!



気づくとみんなが 海賊団になっちゃった。

子どもも先生も園長も、見に来た(たんぼぼ組の)パパ・ママも、みんなに出番が回ってきて、大人たちの必死の“ポヨヨ〜ジャンプ”。に子どもたちは大喜び。海賊団の迫力と会場に響き渡る音、大合唱の渦は全員の心を大きく揺さぶります。「大人も子どもも一つになって楽しめるのが海賊団の魅力です」と、どの先生も楽しそう。

船長と4人のクルーの登場で、 一気に海賊ワールドへ!



♪わ・く・わ・く・す・る・ね〜 み・ん・な・笑・え〜♪の歌声と共に拍手がわき起こり、一気に海賊ワールドへ。クルーのキレイのあるダンスが会場の空気をさらに盛り上げます。「宝物を狙う猛獣たちを追い払うには、子どもたちの元気な声が必要だ」というストーリーなのですが、船長とのかけ合いが楽しくて、みんなの元気は止まりません。



海賊は友だちを大事にするのだ
海賊はいつも夢をもつのだ
海賊は冒険を恐れない
笑顔、笑顔で進むのだ



ゲンキのジュモンの
You Tube 画像です。
<https://www.youtube.com/watch?v=cLYdqt80w4>



みんなで
集合写真

たんぼぼ教室



0・1・2歳児



年少



年中



年長



年長



先生たちのフューチャートレイル♪



副園長のポコヨーブ



曲にのせて夢や希望をうたう歌は、 多くの人の応援歌

「海賊団の魅力の一つは、曲の歌詞にあるんです」と副園長。「友情」「愛」「冒険」「夢」「希望」といった前向きな言葉にあふれていて、「みんなで大合唱すると元気が湧いてくる」と言います。そして船長さんは、実はあつみ幼稚園の卒園生、だとか。幼稚園の頃はやんちゃ坊主だったらしいですよ（笑）。



ポジティブで、
夢と希望を与えてくれる歌

- ♥わくわく海賊団 ♥海賊リズム
- ♥ワンツージャンプ ♥ポヨヨン行進曲
- ♥ハピネスを届けよう
- ♥虹色カーニバル（アンコール曲）
- ♥ゲンキのジュモン（下記QRコードから）

担任の先生に聞きました。

WANTED

興味津々 0,1歳児

ステージの豪華さと迫力にびっくりしていたが、みんな興味津々。首を振り、手を叩く子もいてよい経験だった。

アツ、聞いたことある！ 2歳児

初めはドキドキだったが、お部屋でよく聞いていた曲が流れるとホッとした様子で、最後は飛び跳ねて踊っていた。

ちょっと緊張 年少

はじめは緊張気味の子もいたが、踊りが始まると笑顔になって踊り始めた。船長大好き！という子もいてみんな楽しそうだった。

「生」の舞台に感動 年中

CDではよく聞いていたが、「生」のステージには温かさがあった。船長の表情やクルーの様子も見ることができ大喜びだった。

本当に来てくれた！ やったあー！ 年長

去年とのセットの違いにもいち早く気づく年長は、始まる前から期待感いっぱい。「生」のステージを心の底から楽しんでいた。

船長さんってどんな人？



船長の内田智博さんは、もともと作詞、作曲を手掛ける音楽家で、海賊団の歌も全部自らが作っています。笑顔、希望などポジティブなメッセージを歌にこめて、子育て中のお母さん、お父さん、そしてがんばっているみんなを応援しています。あつみ幼稚園には毎年来ていて、顔見知りの先生や子どもたちに会えるのを楽しみにしているそうです。

取材を終えて

海賊団のことは聞いてはいたが、舞台を間近で見るのは今回が初めて。ホールの空気が振動するかなのような迫りに唯々ビックリでした。会場の熱量と一体感をお伝えできているでしょうか…。

※海賊団のHPも合わせてごらんください⇒



気持ちは受け止めつつ、しつけもしっかり！ 子どもの気持ちに寄り添う かかわり方のヒント

「子どもの気持ちに寄り添ってと言われるけれど、これでいいのかなと迷うときも…」という声も。そこで今回は「子どもの気持ちに寄り添うかかわり方」について、専門家の先生にやさしく解説していただきます。



お話／日本抱っこ法協会公認ホルダー
阿部優美先生



◎.そもそも「気持ちに寄り添う」って どういうこと？

気持ちに寄り添うとは、「相手の気持ちを受け止めて、共感すること」。たとえば、子どもがニコニコ楽しそうに遊んでいるときは「うれしいね」、転んで泣いたときは「びっくりしたね。痛かったね」など、その時々の子どもの気持ちを想像して、共感して、それを言葉や表情で伝えてあげること。それが気持ちに寄り添うということです。



◎.「子どもの気持ちに寄り添う」、 どうして大切なの？

気持ちに悪いものはありません。たとえば2～3歳児がお得意の「イヤ！」にだって「そうか。イヤなんだね」と寄り添ってあげてOKなのです。

どんな気持ちも認め、受け止めてもらうことで、子どもは少しずつ「自分のいろいろな気持ち」に自分自身で寄り添うことができるようになります。それが自己肯定感につながります。



◎.気持ちに寄り添ってばかりでは わがままにならない？

「子どもの気持ちに寄り添う」と「子どもの要求を受け入れる、言いなりになる」とは全く別のこと。ここはとても大事なポイントです。

たとえば、公園遊びで「もう帰るよ」と声をかけても、子どもは「ヤダ！まだ遊びたい」という場合。「まだ遊びたい」という気持ちには「そうだよね。もっと遊びたいよね」と寄り添ったうえで、「でも、もうごはんの時間だから今日はここまでね」とできない理由をシンプルに伝えて、行動を促しましょう。

子どもの気持ちは100%聞けけれど、安易に「しつけの枠（ルール）」は崩さない。これが「子どもの気持ちに寄り添いつつ、子どもの言いなりにはならないかかわり方」の基本です。

「自分の気持ちをコントロールする練習」を 少しずつ

子どもの気持ちを大切にと思うと、「親が決めた都合を無理じいしていいのかな？」とためらう気持ちが出てきて、つい粹をゆるめがち。そんな声もよく聞きます。

もちろん日々の子育ての中では、親がちよっと譲歩したり、「今日は特別ね」ということがあってもいいのですが、子どもがイヤイヤするたびに親がブラついていては、子どもの中に「自分の気持ちをコントロールする力」が育ちません。

「今日はここまで」と決めた時間になったら、子どものヤダにひるまず、「もっと遊びたいよね。帰るのヤダよね」と気持ちを代弁しつつ、手を引いて（あるいは抱っこで）ヤダヤダの気持ちは体でも受け止めつつ、しっかり連れて帰りましょう。

目指すイメージは「信頼できるボス」

子育て中の親が目指すイメージは「信頼できて頼りがいのあるボス」。頼もしいボスは部下の言うことにいちいち流されたりはしませんよね。うんうんと話は聞いてくれて気持ちもわかってくれるけれど、でも間違ったときはきちんと注意してくれて、やがて立派に独り立ちできるよう導いてくれるはず。子どもとのかかわり方に迷ったときは、そんなふうを考えてみてはいかがでしょうか？

わかっているけど、子どもに寄り添えない。 そんなときは…

自分の気持ちに余裕がないときには、人の気持ちにも寄り添えないもの。子どもの気持ちをうまく受け止められないときは、「もしかしたら、私、いま余裕がないのかも」とご自分を振り返ってみてください。ゆっくり話を聞いてもらったり、愚痴をこぼしたり。誰かに気持ちを受け止めてもらえるだけでほっとして元気になるのは、大人も子どもも同じです。



取材・文／中島恵理子



阿部優美 Abe Yumi

日本抱っこ法協会公認ホルダー、言語聴覚士。「心を育てる抱っこの会」メンバー。子育てに悩むお母さんの相談を中心に、3歳児健診、保育園の巡回相談、発達相談などに携わるほか、子育て関係の講演、保育・福祉に携わる職員研修など精力的に活躍中。心の相談室『とうげのちゃや』（東京・府中市）主宰。

<https://kokoronodakko.com/>
「ママも子どもも楽しく！子育て法」HP →



「親子でうれしい イヤイヤ期のしつけ」
子育てが楽しくなるヒントがいっぱい！

※購入方法は
日本抱っこ法協会HPを
ご覧ください。
<http://dakkohou.com/>

